

富士大学研究者情報

経済学部経営法学科

教授

関上 哲

せきがみ さとし

研究者基本情報

最終学歴	東京農工大学大学院連合農学研究科博士後期課程単位取得修了
取得学位	博士（農学）
学位取得年月	平成21（2009）年3月
出身地	岩手県
専門分野	環境・資源経済学、国際環境論、環境・公害教育、農民教育
担当科目	マーケティング論、中小企業論、商業経済、統計解析と社会、オペレーションズ・リサーチ、地域活性化論
所属学会	日本消費経済学会、日本環境教育学会、日本社会教育学会、共生システム学会
長期研究テーマ	地方域におけるまちづくり活性化論
短期研究テーマ	町の主要産業における労働力諸問題
1年以内に発表予定の研究業績	町の主要産業と労働問題(仮)

研究業績 (2021年3月末日現在)

【著書】

1	『新しい環境教育の実践』（共著）高文堂出版社、2005年4月
2	『<ローカルな知>の可能性』（共著）、東洋館出版社、2008年9月
3	『現代環境教育の入門』（共著）筑波書房、2009年8月
4	『織物産業の存立と展望』（共著）農林統計出版、2009年10月
5	『Resource Economics』（Joint Authorship）MSUA・MULS、September 2014
6	『Environmental Economics』（Joint Authorship）MSUA・MULS、September 2014
7	『入門 新しい環境教育の実践』（共著）筑波書房、2016年8月

【論文】

(学位論文)

1	「教育の経済学的意義に関する一考察～J・S・ミルの「経済学原理」を中心にして～」(修士論文)亜細亜大学大学院、1978年3月。
2	「地域通貨の現代的性格と運動の意義に関する研究」(学位論文)東京農工大学大学院、2008年12月。

(査読論文)

1	「J・S・ミルの生産的労働の<基準>」(単著)、『亜細亜大学大学院経済学研究論集』第4号、1979年3月、68-84頁。
2	「まちづくりとローカルな知～地域通貨の学びを中心に～」(単著)『<ローカルな知>の可能性』、東洋館出版社、2008年9月、92-104頁。
3	「伊勢崎織物産地の生産構造に関する一考察」(共著)『日本シルク学会誌』第18巻、日本シルク学会2009、2009年10月、3-7頁。
4	「西陣織物産地のネクタイ部門の地位と経営対応に関する事例的考察」(共著)『日本シルク学会誌』第18巻、日本シルク学会2009、2009年10月、9-14頁。
5	「小松織物産地における戦後展開と機業の生産対策」(共著)『日本シルク学会誌』第20巻、日本シルク学会2011、2011年10月、53-59頁。
6	「近年における八王子市産地の性格と地域ブランド品の地位」(共著)『日本シルク学会誌』第20巻、日本シルク学会2011、2011年10月、41-45頁。
7	「子どもをとりまく教育的課題と環境教育—西淀川高校にみる「総合的環境教育」の可能性—」(単著)『民主教育研究所年報』2011第12号、2012年8月、248-286頁。
8	「米沢繊維工業の地位と絹織物業後継者の経営行動」(共著)第21巻、日本シルク学会2013、2013年3月、15-22頁。
9	「和装消費の動向と西陣織物産地帯地部門の経営対応」(共著)第21巻、日本シルク学会2013、2013年、23-29頁。

(学会誌等論文)

1	「四か月間の就職内定者講座」1985年12月。全国私立中学高等学校、第7回進路指導研修会研究収録。35-39頁。
2	「ISO14001認証取得事例 富士見丘中学・高等学校環境活動の成果が見える形に 教育カリキュラムの中に環境保全を反映させたい」アイソス、2002年1月。101-105頁。
3	「公害教育とは何か」(共著)、環境教育・青少年教育研究 第2号 東京農工大学、2003年9月。38-46頁。
4	「教師の公害教育実践事例にみる役割と展望」(単著)、環境教育・青少年教育研究 第2号 東京農工大学、2003年9月。30-37頁。
5	「学校現場からの環境教育～ISO14001を取得した学園からの環境教育について」(単著)、環境学研究 Vol.3 明星大学、2004年3月、23-27頁。
6	「子どもとエコマネー 地域社会での相互の関わりを促す試み」『子ども白書』草土文化社、2004年8月、228-229頁。
7	「グローバル化と地域通貨学習論<その1>」(単著)、環境教育・青少年教育研究 第3号、東京農工大学、2004年9月。36-47頁。
8	「公害教育の制度化と課題」(単著)、ESD環境史研究 第4号 東京農工大学、2005年9月。41-49頁。
9	「地域通貨の教育経済学的アプローチ～中間領域概念における地域通貨学習分析」(単著)、日本社会教育学会 紀要 2006年度 No42 日本社会教育学会、2006年6月。126-128頁。

10	「西淀川公害裁判の経過と今日的和解の意義」(単著)、ESD環境史研究 第5号 東京農工大学、2006年8月。29-39頁。
11	「エコマネー」「公害教育」「公害反対住民運動」『社会教育・生涯学習辞典』朝倉書店、2012年11月。37頁、133-134頁。
12	「現代の環境教育」「人間と教育」民主教育研究所、2011年9月、79-87頁。
13	「モンゴルの鉱業法について-法律問題を中心にして-」(単著)、アジア研究所・アジア研究シリーズNo83、2013年2月。91-115頁。
14	「The result in the meaning and Kumon Style which study Japanese」(Single) Second Annual International Scientific Forum (Foreign Language Center of MULS) Ulaanbaatar, April 2014 (H26) P.16-18
15	「モンゴル国の資源開発と経済成長問題のデカップリング的可能性-経済理論的推論分析-」(単著) アジア研究所アジア研究シリーズNo90、2016年3月。105-163頁。
16	「現代環境教育に結びつく公害地域での公害環境教育」(単著)「教育文化研究」第3号、2016年9月。51-74頁。
17	「今日の大学における日本語教育への新たな視点-モンゴル生命科学大学での日本語教育実践から-」(単著)「教育文化研究」第4号、2017年5月。53-80頁。

【その他の執筆】

1	「ISO14001認証事例 富士見丘中学・高等学校(東京都) 環境活動の成果を見える形に 教育カリキュラムの中に環境保全を反映させたい」(共著)、アイソス、2002年1月。101-105頁。
2	「山崎丈夫著『地域コミュニティ論』について」(単著) 自治体問題研究所、2003年8月。
3	「子どもとエコマネー 地域社会での相互の関わりを促すところみ」(単著)、『子ども白書』草土文化社、2004年8月、228-229頁。
4	「大島茂雄『持続可能な「社会経済」への革新-生命地域づくりで経済を作る-』を読んで」(単著)、社会教育・生涯学習研究所年報2004年第2号、2004年9月。
5	「小玉敏也・福島智紀編著『学校環境教育論(持続可能な社会の環境教育シリーズ)』」筑波書房2010年5月号を読んで」117-119頁、2010年8月。
6	「現代の環境教育」(単著)、「人間と教育」民主教育研究所、旬報社、2011年9月。79-87頁。
7	「エコマネー」「公害教育」「公害反対住民運動」『社会教育・生涯学習辞典』(共著)朝倉書店、2012年11月。37,133-134頁。
8	「モンゴルにおける株式市場の制度設計に関する考察」(共著)『富士大学紀要』第53巻第2号、2021年3月、1-13頁。

【学会発表】

1	「富士見丘高等学校における就職指導」第7回全国私立中学高等学校研修会、1985年6月。
2	「富士見丘中学・高等学校におけるISO14001の認証取得と環境活動」日本私学教育研究所、2002年6月。
3	「公害教育の役割と展望」(共)日本環境教育学会 第14回大会、2003年5月。

4	「貨幣論と学習論のインターフェイス～自己学習としての地域通貨学習論」(単)、日本社会教育学会・六月集会ラウンドテーブル地域通貨制度と生涯学習、2003年6月。
5	「学校現場からの環境教育～ISO14001を取得した学園からの環境教育報告」(単)、環境学研究会 第2回環境学シンポジウム 明星大学、2003年12月。
6	「グローバリゼーションとカウンターグローバリゼーション～対抗の場としての地域と地域通貨学習論からの接近」(単)、日本社会教育学会 第51回プロジェクト研究 2004年3月。
7	「環境教育実践と課題～森づくりとまちづくり構想のコラボレーション～地域通貨実践試論」(単)、日本環境教育学会 第15回大会、2004年7月。
8	「地域通貨実践のスタッフの力量形成 {ピーナッツ} とNPOスタッフの力量形成」(単)日本社会教育学会、第51回研究大会 同志社大学 地域通貨制度と生涯学習 その2、2004年9月。
9	「公害教育に始まるまちづくり実践」(単)、日本環境教育学会第16回大会 京都教育大学、2005年5月。
10	「地域通貨の教育経済学的アプローチ」(単)、日本社会教育学会第52回研究大会 東京大学6月集会、2005年6月。
11	「西淀川公害問題と環境」第4回 地域と環境科学研究会 宇都宮大学、2005年8月。
12	「公害教育から学ぶべきもの～公害教育論 公害教育研究の到達点と課題について」(単)、日本環境教育学会 第14回 東京大会立教大学、2006年1月。
13	「持続可能な地域社会における公害学習の可能性～西淀川公害問題を中心に」(単)、日本環境教育学会 第17回 酪農学園大学、2006年8月。
14	「親子の地域通貨導入～けやきコミセンにおける実践例」(単)、日本社会教育学会プロジェクト研究 京都大学大学院、2006年8月。
15	「第5回地域通貨制度と生涯学習 第1回～第5回までの地域通貨制度と生涯学習の総括と今後の展望」(単)、日本社会教育学会第53回プロジェクト研究 福島大学、2006年9月。
16	「高知県の町の環境保全活動～地域通貨「モリ券」を中心に」日本環境教育学会 第20回大 東京農工大学、2009年7月。
17	「高校生によるESD活動の実践に関する研究～西淀川高校の菜の花プロジェクトを事例に」(共)日本環境教育学会第22回大会 青森大学、2011年7月。
18	「子どもをとりまく教育的課題と環境問題について～西淀川高校の「総合的環境教育」 国民教育研究大会、2011年2月。
19	「公害教育運動の基礎的研究Ⅰ」 日本環境教育学会 第22回大会、青森大学、2011年7月。
20	「子どもを取り巻く教育的課題と環境教育～菜の花運動に見る環境保全主体形成とESD活動を中心に」(単)日本環境教育学会 第22回大会 青森大学、2011年7月。
21	「日本公文式学習法と富士見丘学園の教育」日本公文式指導者研修会、2012年8月。

22	「About the special feature of a Kumon style method in Japanese Language Learning Study」 (Single) Foreign Language Center of MULS(Mongolian University of Life Sciences), Second International Scientific(Language Study) Forum、Ulaanbaatar April 2014.
23	「グローバル環境教育オンラインコース2016の受講者と関心のある方のためのワークショップ」 (共) 日本環境教育学会第10回東京支部大会、2016年3月。
24	「モンゴル証券業界におけるSDGs社会構築のためのESG投資の可能性について」モンゴル証券業界 (Mongolian Association of Securities Dealers:MASD)、2019年9月。

【教職歴】

1	鹿児島大学かごしまルネッサンスアカデミー生涯学習、特別講師、2012年3月、2013年12月
2	Mongolian State University of Agriculture (Mongolian University of Life Sciences), Business and Economics Department, Professor. Adviser of The Institute of International Studies. モンゴル国立農業大学 (モンゴル生命科学大学) ビジネス経済学部 教授 (資源経済学、環境評価論担当)日本語コース責任者、大学国際交流関係アドバイザー2013年9月～2015年8月
3	松蔭大学経営文化学部非常勤講師(担当：国際環境論ⅠⅡ、企業環境法) 2016年4月～2018年3月

【内外における公開講座等の講師】

1	武蔵野市市民対象の「地域コミュニティとエコマネー」けやきコミュニティセンター、2003年5月。
2	武蔵野市社会教育指導員研修「地域通貨導入と公民館活動」けやきコミュニティセンター、2003年6月。
3	福生市市民対象「地域通貨導入とコミュニティ」、福生公民館 2004年7月。
4	モンゴル生命科学大学語学センター「日本公文式教材による日本語学習公開講座」、MSUA・MULSの日本語文化センター、2013年12月～2015年7月。
5	松蔭大学市民対象 卒業生並びに厚木市対象講座 「厚木市のコミュニティと地域通貨導入」学習、松蔭大学駅前キャンパス、2017年8月。
6	「『子ども孝行』のすすめ～モンゴルでの2年間の体験を通して～」いちの町民セミナー、一戸教育委員会、生涯教育、2019年8月。
7	「持続可能な社会の実現のために (SDGs) ～モンゴルの事例を通して」花巻市生涯学園都市会館、生涯教育、2019年9月。
8	「持続可能な社会の実現のために (SDGs) ～モンゴルの事例を通して」北上市生涯学習センター、生涯教育、2019年10月。
9	「『子ども孝行』のすすめ～その後～」いちの町民セミナー、一戸教育委員会、生涯教育、2020年8月。

【社会的活動】

1	武蔵野市けやきコミュニティセンターで協力員。2002年4月～
2	子ども白書 環境部門編集委員 2011年2月～2013年2月
3	狛江市公民館 運営審議会委員 2011年4月～2013年8月
4	花巻市市民参画・協働推進委員会委員 2018年8月～2020年8月

5	花巻市市民参画・協働推進委員会委員 2020年8月～2022年8月
---	-----------------------------------

【競争的外部資金による研究】

1	公害教育の基礎的研究、環境教育史研究の構築（共）（基礎研究 c） 2009-2011年
---	---